

## 第8回 藤久保地域拠点施設基本計画検討委員会について

令和3年4月23日  
施設マネジメント課  
藤久保地域拠点施設整備準備担当

1. 日 時：令和3年4月23日（金）14：00～15：30
2. 場 所：役場501会議室
3. 出席者：杉崎和久委員（委員長）※、阿部英雄委員、伊藤敏彦委員、児島新衛委員、佐藤和秀委員、武山睦子委員、松村克彦委員、三ツ木紀夫委員※、横山八重子委員 ※…オンライン出席  
事務局 施設マネジメント課 課長 古山智志 技師 郷間成 新村優宗
4. 傍聴の可否について  
第8回検討委員会の傍聴を可とする。 傍聴者 2名
5. 議 事：（1）藤久保地域拠点施設基本計画 素案の説明  
（2）その他

### 6. 内容（結果）

#### 【議事（1）について】

スライド資料及び、基本計画（素案）を基に、事務局より説明を実施

※質疑応答について、オンラインの音声不具合により、事後回答としたものを含みません。

- ・財政面について、現在の三芳町の財政状況において、普通交付税不交付団体となっており、財源としては基本的に町税を充てると思うが、財政的に大丈夫なのか。  
⇒（※事後回答）本事業についての資金調達については、今後の検討課題として基本計画（素案）にも記載しているが、元利償還金という形で財政負担を平準化し、世代間での公平性を図る観点から地方債を主な財源として見込む一方で、地方債以外については、一般財源として拠出する必要があるため、基金への積立及び埼玉県ふるさと創造貸付金の活用等を検討する。必要な事業であるため、財政面を含むあらゆる視点から最適な方策を選択し事業を実施していく。
- ・今回の計画は、13の施設を盛り込んでおり、限られた面積に押し込んでいるように感じる。  
⇒（※事後回答）町の公共施設については、この先随時更新の時期が迫っており、今後の施設マネジメントにおいては、施設の集約・共有・縮小といったことが必要となってくる。本計画においても、複合施設として集約し、関連室の共有化や廊下やエントランスといった共用部の削減などを行い、必要な住民サービスの提供を維持できる規模として計画している。
- ・専門的な単語や横文字など、聞きなれない言葉がたくさん出てくる。用語などをわかりやすく解説した方がよい。

- ⇒(※事後回答)一部、解説も追記している。意見として伺う。
- ・商工会と社会福祉協議会について、占有面積の記載があるが、従前から手狭といった意見がある。倉庫などについても、今現在多くの備品を分散して管理している。そういった面積などについての要望は出せるのか。
- ⇒直接調整すべき案件だと考える。数値の公表についても、合意が必要。
- ⇒規模については、構想段階から既存の藤久保拠点ゾーンにある商工会館の面積をベースに想定しており、施設の規模に応じて、整備費用などに当然関わってくるため、このあと大きく面積を増やすといったことは難しい。現在想定している面積の中での使い方や、共用、共有部の使い方等については、今後も調整をさせていただきたいと考えている。倉庫などについても、施設全体として想定している部分については、適宜分散配置する旨を記載しており、そういった部分も調整できる可能性がある。現時点で、モデルプランや概算算出上の想定と記載しているが、公表前には両団体に対し、公表内容についても合意の上、公表したい。
- ・検討委員会の任期はパブリックコメントの後、基本計画の策定までか。
- ⇒委員のおっしゃるとおり。
- ・その後、部屋の使い方や細かい部分について意見をいう場所があるのか。
- ⇒今後、具体的な検討をしていく中で、利用者の方へのヒアリングや、施設を考えるワークショップなど開催できればと考えている。
- ・整備費がかなりかかるが、地元の企業などに受注の機会を設けるように工夫できないか。
- ⇒官民連携事業において、よく課題として挙げられる点であり、その解決策として事業者選定における評価において、地元企業の参画への配慮について配点として設定する方法がある。本事業においても、そういった方法を取り、地元企業の皆さんが本事業に関われる機会について配慮したいと考えている。
- ・個別の施設の整備等について、利用者意見などを聞いてもらえる機会はあるのか。
- ⇒今後、要求水準書(施設に求める性能を示した発注図書)を作成する上で、個別の施設の内容について詰めていく必要がある。その際は、施設を所管する所管課に話を聞いて検討をしていく。個別の施設については、そういったタイミングで所管課を通して、意見をあげていただくなどの方法が考えられる。

## 【審議(2)について】

今後の検討委員会スケジュールと、6月開催予定の住民説明会についてのご意見

- ・住民説明会について注意してほしい点として、広報みよしでも特集されていた中で、先進事例として写真などで解説されていた。規模などがあっていないと感じ、住民の中でも誤解が生じると感じた。現実的な説明をお願いしたい。

⇒住民説明会の留意点とする。